

京都路地入

Kyoto Logie





「空と窓と、京都の路地は奥に深いです。」

改め

「京都路地入-Kyotologie」です。

今回は一条通りを訪ねます。





先ほどの蔵に連なる裏屏なんですが、なにやら怪しげな石が置いてあります。  
よくみると、その上の板塀の下の部分に隙間が。  
そして下辺がちびています。

どうやら隠し戸のようで、置き石は段差の解消に  
置かれているようです。

旦那が、お忍びで出かけるときにでも、出入りに使ったんでしょうか。





うーん。

壁を突き抜け屋根を突き破り、張り出している煙突。



一体、何ように使われているのやら。

横にこってりと油のついた換気扇があるのに、  
なんで煙突が。

傘が可愛い。





仲良し。





四条通で電車を降りて、一条まで上がっていきます。

ちなみに京都の地名表記では  
町名の後に、上ル、下ルというのがついたりします。

北側が上ル、南側が下ル。

そして東西は東入ル、西入ル、となります。





さっきの通りを上がっていると、春日神社につきました。  
ここへ来たのは初めてです。というか、存在を知りませんでした。  
地元の人しか知らんのでは、と思いますが、なんと能舞台まであります。







その春日神社の横手の参道なのですが、  
蔓がうによーんと伸びていて、風に揺れて、  
いらっしゃーい、なんて誘っているようです。  
神社でこれは、ちょっと、妄想が、。







二条あたりまで上がってきました。  
JR嵯峨野線。橋桁が薄くて、何度見ても気持ち悪い。そこで止まるな。

駅だから仕方がないんですけど。



侘び寂び、というか、錆び。





薔薇！  
木というより樹。





この左下のあたりに自転車が置いてあるんですが。  
鍵って、なんのためにあるんですたっけ。

、、、ひょっとして、鈴をぶら下げるため？





丸太町を越えて、妙心寺道という通りのあたりです。  
北野天満宮御旅所に来ました。

御旅所というのは、人の旅ではなくて、神様の旅です。  
お神輿に乗って、来はるわけですけど、  
考えると妙な話なので、考えないことにしました。





---

おばあちゃんの上にも薔薇の花束が。

”愛、燦々とー”





森永牛乳

数年前に天使のデザインが変わりました。

元に戻してほしいものです。



ここにも薔薇。





今回最大の謎  
9枚の戸のうち、1枚だけ開いて営業中とは。

張り紙には、  
「毎度ありがとうございます。  
店内では営業しております。  
御用のお客様は  
どうぞお入りください。」  
とありました。

なんか、ほっとしました。



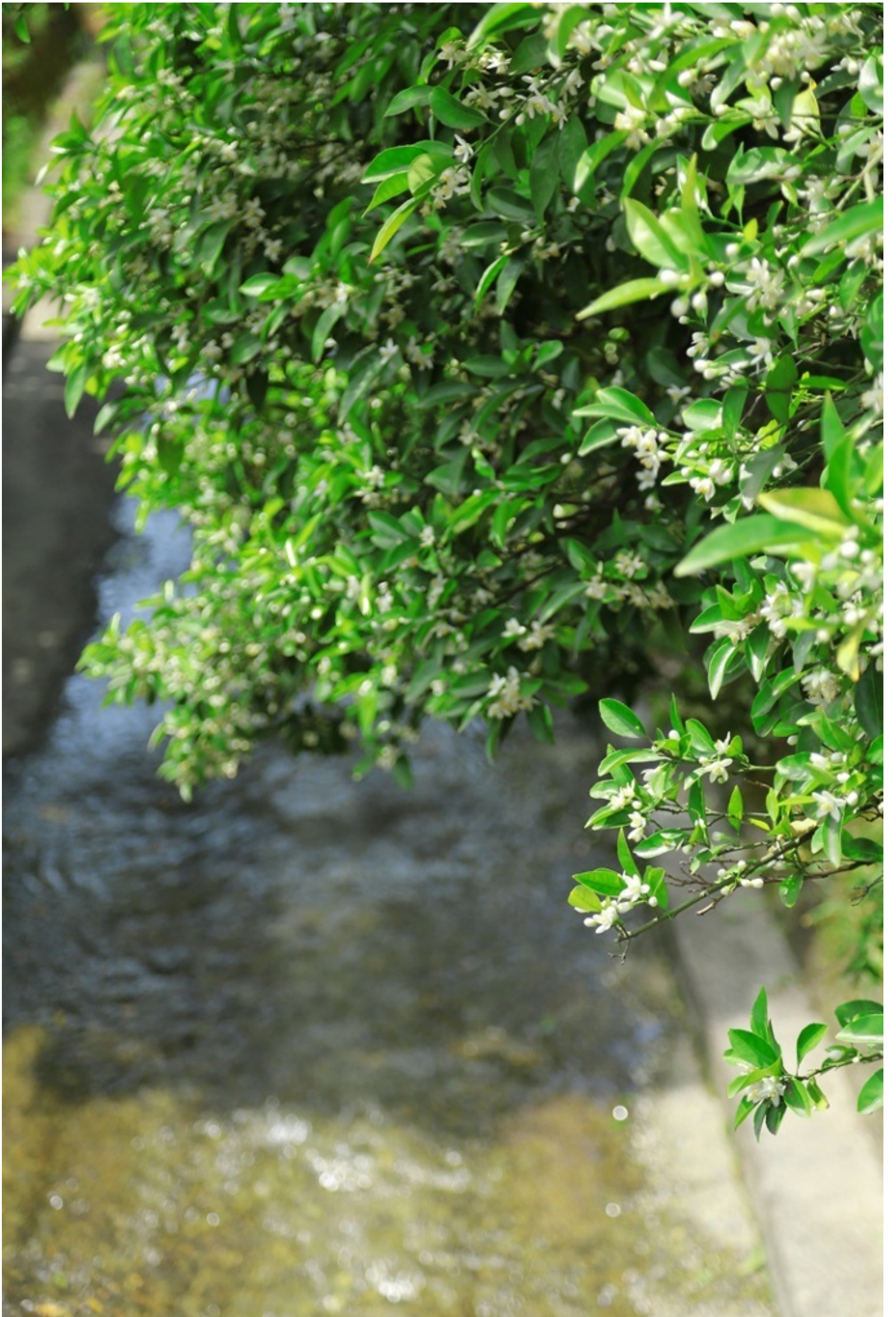


ようやく一条通にたどり着きました。  
と思ったら、いきなり”妖怪ストリート入り口”です。  
あーんど、”売出大將軍”。  
どうも、ノリが合いません。



かなり長いです。  
右手のおばさんは、おそらくあの体勢のまま、  
1時間ぐらいは話し込んで行くはずですよ。  
だいたい玄関口で済ましはるようですね。  
中へは入らんと。ながながと。





---

紙屋川にかかる一条橋の袂で  
大きな八朔の木が花をつけていました。

甘酸っぱい、いい香りがしています。  
子供の頃を思い出すなあ。





一条橋です。下が紙屋川。



## タマヒメ

何やら幻のお酢とか呼ばれているそうです。

目の前にあるのに幻。

さすが妖怪ストリート、、、違うって。





### 成願寺のエントランス

奥には菖蒲も咲いていたんですが、このお寺とは思えない可愛らしさに、こちらに焦点を合わせました。

この隣が京とうふ藤野だったとは。



大將軍神社。強そう。  
軒庇も強そう。







熱中症にきいつけとくなはれや。





麺箱が積み上げてある。

こどものころ日曜日のお昼はいつもうどんでした。  
そのうどん玉を買いに行くと、こういう麺箱の中に  
うどん玉がダイレクトに入れてあったものです。

もちろん、個別包装なんてありません。

こういうところで作ってたのかなあ。



損保の糸の箱が気になる。





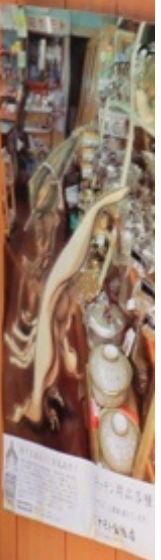
あまりコメントしたくない







自転車  
貸さし  
貸す車をかけど





素晴らしい。  
こういうの作る左官屋さんて、もういないんでしょうね。  
この会社は現役です。





---

せんべいよりもアイスの季節ですよ。  
”高級”なせんべいって、高級じゃないせんべいって？





生地屋さんもどんどん大通りからは消えていってるんですけど、  
こういうところには、まだまだあるんやなあ。  
京都は手作り盛んなので、需要はあるんでしょう。



君、何か悩み事か。  
悩んでるんやったら、神社に行っといで。  
神さんがなんでも聞いてくれはる。





造形も古び方も最高ですね。  
ガラスの波なみもいい。







---

かなり崩れかけているお寺の本堂にかかっているんですけど、  
何が書いてあるのかわからないところがスゴイ！

ほんまに、このままほっといてええんやろか。



このタイプは初めてです。  
水道局のタグですが、放任専用というのは  
定額で使い放題という意味だそうです。

メーターが品不足で、全戸にはつけられなかったのだとか。





、、、鍵かかってないってことですか。  
しかもお留守で、、、  
携帯とか、電話とか、、、  
桑田さん早く来てあげてください。

字が綺麗で見とれました。







---

完璧



いらんわ。  
リサイクル料金とトントンの洗濯機なんか。





どうして路地の真ん中に布団が置いてある！



この手の室外機、よくみるんです。  
おそらく昭和40年代もの。  
とても冷えるとは思えない。



原 青 安 小 遠 百 菊 田 西  
田 木 田 沢 藤 田 次 中 山  
隆 勇 空 悠 男 光 清 康 光  
夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫



画一作三ノ...







---

びみょうに首が中心を外してませんか。





---

お風呂屋さんの煙突。

お風呂屋さん本体は、ちょっと僕の美意識に合わない  
カラーリングだったので、却下。





近寄ったら逃げられました。



メニューが変わっていて、  
ちょっと根性が要りそうだったので  
今回はパス。





---

開き戸なのに引き戸。

世の中、開き戸にするか、引き戸にするか  
悩む人がいるようですが、ここに答えがあります。







これ、何するものぞ？





古い家の外装を綺麗にしておられるのですが、  
この2階の扉は何？  
前は、通路上の傾斜した屋根なんですけど。  
しかも、わざわざリニューアルしてある。

京都人の考えることって。



街角に薔薇







本当に薔薇が多いんです。





なんか、上から目線で腹立つ。



ここが有名な一条戻り橋。  
新しすぎて、情緒もへったくれもない。

なんて言ってるから晴明神社に行き損なうんでしょね。  
どこで曲がればよかったんだろう、、、  
地図持って出ようよ、わたくし。





---

鮮魚店ではなく、自家焙煎コーヒー屋さん。

ちゃんと消そうよ。





ほぼシンメトリー  
そして完璧なプロポーション。  
直線だけでできている。アートだなあ。



昔ながらの味噌屋さん。  
暖簾は新しいですけど。





御所につきました。  
一条通の最後は虎屋さん。

やらと、と読まないように。

一条通はかつて平安京の北辺であり、  
現世と異界の境目だったそうです。

実際のところ、都の外というのは死者の国だったのでしょう。  
埋葬されることのない人たちは、野辺に打ち捨てられていた  
ようですから。

いまやコンクリートの覆われて、妖怪どもの出る余地もないのですが。

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10 午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙 2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue \\_ ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue \\_ ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue \\_ ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)



[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ — バックナンバーズ

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」](#)

[1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo 「Hina」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo 「からくれないに ni」](#)

[Photo 「bleu,jaune,vermillion」](#)

[Photo 「H.45」](#)

[Photo 「Fly me to Paris I ～XIV」](#)

[Photo 「祇王 こけのころも」](#)

[Photo 「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo 「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo 「空と僕と自転車と」](#)

[Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo 「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo 「空と木とたまに月」](#)

[Photo 「からくれないに」](#)

[Photo 「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo 「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルース](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)



詞画集「ただ憧憬だけを」

画集「彼と彼女の表紙画集」